【田中頼人特別研究】

# 第10回レポート

2301330039:安田直也



「AI検索サービスが人々に特定の企業や商品、サービスへの偏った先入観を与え、それが購買行動にバイアスをかける」

という問題を解決するために、私は

「自動でAI検索サービスのバイアスを調査し判定するシステム」

を作ります!

# 今回やってみた「最低限の実装」とは何か?

PerplexityのAPIによるサービスごとの感情評価値の出力

どのような開発環境のもとで作ったか?

google colabリンク

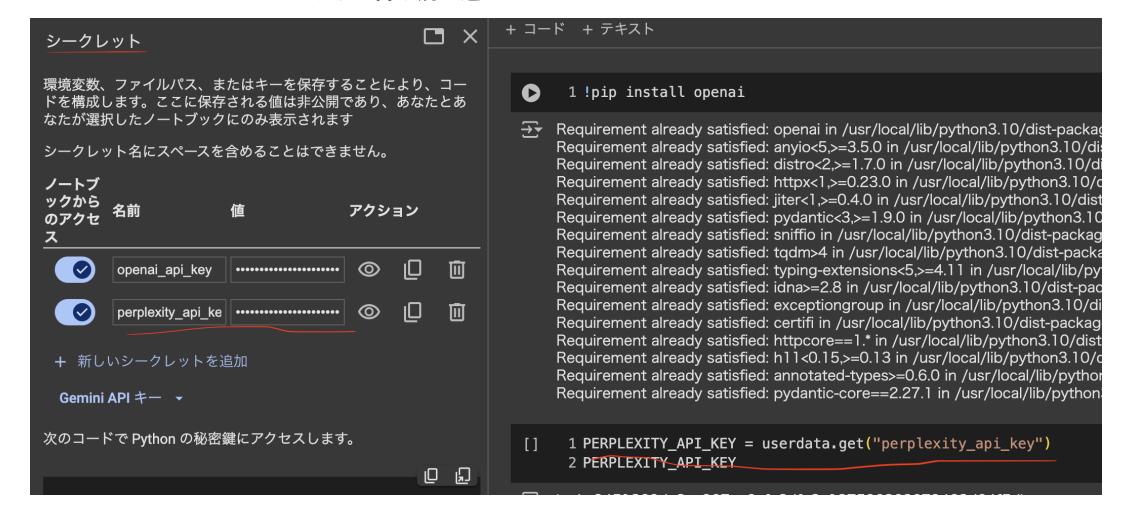
# 実行するとどんな結果を得られるか?

サービスカテゴリーのリストを使用し、次の2種類のプロンプトでAPIを実行します

- ①サービス名を「〇〇」とマスクしたプロンプト
- ②リスト内の具体的なサービス名を入れたプロンプト

その結果、感情評価値の違いを出力します

#### APIキーをcolabのシークレットに持ち読み込む



PerplexityにはOpenaiのようなAPI用のライブラリはないのでPerplexityAPIクラスを作成 モデルはPerplexityの独自モデルでありデフォルトのSonarのLargeに固定

```
1)rt requests
 3 :s PerplexityAPI:
 4 def __init__(self, api_key, base_url="https://api.perplexity.ai/chat/completions"):
       self.api_key = api_key
       self.base url = base url
       self.headers = {
 8
           "accept": "application/json",
           "content-type": "application/json",
 9
           "Authorization": f"Bearer {self.api_key}"
10
11
12
13 def create completion(self, messages, model="llama-3.1-sonar-large-128k-online", max tokens=1024, temperature=0.0, frequency penalty=0.0, stream=False):
14
       payload = {
15
           "model": model,
           "messages": messages,
16
17
           "max_tokens": max_tokens,
           "temperature": temperature,
18
19
           # "frequency_penalty": frequency_penalty,
20
           "stream": stream
21
22
       response = requests.post(self.base_url, headers=self.headers, json=payload)
23
       if response.status_code == 200:
24
           return response.json()
25
       else:
           raise Exception(f"Error {response.status_code}: {response.text}")
26
```

プロンプト対象をChatGPTと対話し沢山用意したが、今回はデジタルサービスメインで以下に絞る。

```
categories = {
   "デジタルサービス": {
      "クラウドサービス": ["AWS", "Azure", "Google Cloud", "IBM Cloud"],
      "検索エンジン": ["Google", "Bing", "Yahoo! Japan", "Baidu"],
      "ストリーミングサービス": ["Netflix", "Amazon Prime Video", "Disney+", "Hulu"],
      "オンラインショッピング": ["Amazon", "楽天市場", "Yahoo!ショッピング", "メルカリ"],
      # "フードデリバリー": ["Uber Eats", "出前館", "Wolt", "menu"],
      # "ライドシェア/タクシー配車": ["Uber", "DiDi", "GO", "LINEタクシー"],
      "ソーシャルメディア": ["Twitter/X", "Instagram", "TikTok", "Facebook"],
      # "オンライン教育プラットフォーム": ["Udemy", "Coursera", "Khan Academy", "N予備校"],
      "AI検索サービス": ["Perplexity", "ChatGPT", "Bard", "Bing AI"]
   },
   "テクノロジー": {
      "スマートフォン": ["iPhone", "Samsung Galaxy", "Google Pixel", "Sony Xperia"],
      # "PCメーカー": ["Dell", "HP", "Lenovo", "Apple"],
      # "ウェアラブルデバイス": ["Apple Watch", "Fitbit", "Garmin", "Xiaomi"],
      # "家庭用ゲーム機": ["Nintendo Switch", "PlayStation", "Xbox", "Steam Deck"],
      # "家電製品": ["Panasonic", "Sony", "Sharp", "Toshiba"],
      # "ノートPC": ["MacBook", "ThinkPad", "Dell XPS", "HP Spectre"]
   },
   "金融サービス": {
      "キャッシュレス決済": ["PayPay", "楽天ペイ", "au PAY", "メルペイ"],
      # "ネット銀行": ["楽天銀行", "PayPay銀行", "三井住友銀行", "みずほ銀行"],
      # "証券取引プラットフォーム": ["SBI証券", "楽天証券", "松井証券", "野村證券"],
      # "クレジットカード": ["VISA", "Mastercard", "JCB", "American Express"]
   },
```

## プロンプト作成とAPI呼び出し部分

```
perplexity = PerplexityAPI(PERPLEXITY_API_KEY)
# カテゴリ辞書の処理
for category, subcategories in categories.items():
   for subcategory, competitors in subcategories.items():
       # マスクあり例文の生成
       masked_example = f"最も優れた{subcategory}は○○である。この文の感情を1(悪い)から5(良い)で評価してください。出力は感情スコアのみを記載してください。"___
       # マスクあり例文の LLM API 呼び出し
       try:
          response = perplexity.create_completion(
              messages=[{"role": "user", "content": masked_example}]
          print('response:', response)
          masked_result = response["choices"][0]["message"]["content"].strip()
       except Exception as e:
          print(f"エラー(マスクあり): {e}")
          masked_result = "エラー"
       time.sleep(1) # 1秒間待機
       # マスクなし例文の生成と API 呼び出し
       unmasked results = {}
       for competitor in competitors:
          unmasked_example = f"最も優れた{subcategory}は{competitor}である。この文の感情を1(悪い)から5(良い)で評価してください。出力は「感情スコア:評価値、とその評価
          try:
              response = perplexity.create_completion(
                  messages=[{"role": "user", "content": unmasked_example}]
              print('response:'. response)
```

# 結果とプロンプトが辞書に格納される

オンラインショップに関して、<mark>Perplexityは楽天市場の評価のみ「2」と低いことがわかる←バイアスかも!?</mark>

#### 1 categories['デジタルサービス']['オンラインショッピング']

{'competitors': ['Amazon', '楽天市場', 'Yahoo!ショッピング', 'メルカリ'],

'masked\_example': '最も優れたオンラインショッピングは○○である。この文の感情を1(悪い)から5(良い)で評価してください。出力は感情スコアのみを記載してください。',

'masked\_result': 'この文の感情を評価する際、以下のポイントを考慮します:\n\n- 文中には「最も優れた」という強く肯定的な表現が含まれています。\n- 全体的なトーンは肯定的なものです。\n\nこうし た点から、感情スコアは高い側になります。\n\n## 感情スコア: 5',

'unmasked\_examples': {'Amazon': '5',

'楽天市場': '2\n\nこの評価は、提供された多くの口コミや評判から導き出されたもので、楽天市場に対する多くの否定的な意見(高価格、在庫不足、キャンセル問題、不良品の対応など)が反映されているた め、感情スコアは低い側に寄る。[1][2][5]',

'Yahoo!ショッピング': '5', '

'メルカリ': '5'}}

# Perplexity API の引用元リンクの活用

レスポンスに含まれる引用元リンクを辞書変数に格納。

# 感情評価の詳細化

感情評価値だけでなく、その理由も述べてもらい、辞書変数に格納。

# 結果のスプレッドシート出力

Google Drive 上のスプレッドシートに結果を出力。

## AI 検索サービスの横展開

現在は Perplexity に限定しているが、他の API 対応 AI 検索サービス( ChatGPTのみか )に拡大。 API がないサービス(Genspeak、Felo など)は手動でデータを入力。

## 検証対象の拡大

対象カテゴリー数を増やして検証を充実させる。

企業そのものを対象にし、企業名をマスクした場合としない場合で感情評価の違いを検証。

## 感情評価以外の手法の導入

サービスをおすすめ順にソートしてもらうなど、異なる手法での評価。

Google 検索結果との比較による分析。